

(様式 4・1)

令和 7 年 5 月 13 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しています。

この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究課題名	GAMP(ギャンブル行動症回復プログラム)参加者の増加と運営方法の工夫
研究責任者 所属・氏名	さくら病棟 江嶋 健二
研究概要	プログラムの参加者は令和 1 年度、1 回のセッションの平均が 8 人程度であったものが、令和 5 年度から増加傾向となり、令和 6 年度は最大 25 人、平均 15 人程度まで増加している。 スタッフ自身、今までの運用のままでは、参加者の増加に対応しきれず、プログラムの質が維持できないのではないかと感じることがあり、参加者からも環境に対しての不満やプログラム進行に対しての意見を頂くことがあった。その都度、ギャンブル依存症治療チームで運用方法について話し合いを実施しプログラムの質が保てるよう様々な工夫や対応をしてきた。 GAMP 普及先の病院との関わりの中でも、当院同様に参加者増加が認められ、運用方法の変更や改善を試みられていることを知ることができた。 過去を振り返り、ハード面・利用者面・スタッフ面で情報を整理し、関連性を考察する。研究発表を通して、他の支援者と議論・アドバイスを得ることでプログラムの質向上や運営方法改善に繋げていきたい。 2030 年、カジノを含めた統合型リゾート施設 (IR) の開設計画が現実味を帯びており、今後もギャンブル行動症の支援の需要が高まると考えられる。発表することで、GAMP について広く知ってもらい、GAMP 普及とギャンブル依存行動症の支援の輪が拡大することを期待したい。
研究対象者	平成 31 年 4 月から令和 7 年 4 月までの GAMP 参加者

研究実施期間	研究実施を承認されてから令和 8 年 3 月 31 日まで
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	この研究対象者の方などが研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧をご希望される場合は、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲での入手や閲覧ができます。その際には下記、問合せ先までご連絡ください。
個人情報の保護の方法	研究データは全て鍵のかかる保管庫において、研究責任者の責任の下、厳重に管理する。
個人情報の開示に係る手続き	下記、問合せ先にご連絡ください
問合せ先	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター さくら病棟 看護師 江嶋 健二 (代表) 072-847-3261